

トカラ列島口之島・悪石島の昆虫（2018年）

金井 賢一¹・守山 泰司²・小宮 裕生²

Insects Collected on Kuchino-shima and Akuseki-jima (Tokara Islands) in 2018

Kenichi KANAI¹, Taiji MORIYAMA² and Hiroo KOMIYA²

はじめに

筆者らは継続してトカラ列島の昆虫を調査しており、その成果は鹿児島県立博物館研究報告に報告してきた（例えば金井・守山, 2018a）。中でもチョウに注目してその時点でのまとめを行った（金井・守山, 2018b）。その際、調査不足の地域あるいは季節が判明したので、2018年もその不足を補うために調査を計画した。実際には天候不順、台風の接近などにより、以下に示す2回しか調査できなかったが、その結果を報告する。

なお、学名等についてはバタ目には町田・日本直翅類学会（2016）、カメムシ目は川合・谷田（2018）および石川ら（2012）、コウチュウ目は鈴木（2017 - 2018）、ハチ目は寺山・須田（2016）および多田内・村尾（2014）、ハエ目は平嶋・森本（2008）、鱗翅目チョウ類は猪又ら（2010 - 2013）、蛾類は神保（2004 - 2008）を福田輝彦氏が適宜改訂したものに従った。

十島村には、調査にあたり昆虫採取・捕獲の許可を頂いた。水生カメムシ類は林正美氏（東京農業大学）に同定して頂いた。蛾類は福田輝彦氏（鹿児島昆虫同好会）に標本作製・同定を行って頂いた。悪石島小・中学校の坂元幸道校長には、生徒たちに地域の自然を紹介する貴重な時間を割いて頂いた。お礼申し上げます。

1. 口之島

1. 調査日程

11月23日 鹿児島発（23:00）フェリーとしま2

24日：口之島着（5:00）

集落～前之浜～西之浜～横岳～前岳林道～セランマ～前之浜～集落

25日：集落～前之浜～セランマ～前之浜～集落口之島発（12:20）フェリーとしま2、鹿児島着（18:15）

調査は民宿の車を借りて行った。

2. 調査者

守山泰司：鹿児島県立博物館外部協力者、鹿児島昆虫同好会会員

3. 調査結果

24, 25日の両日も好天に恵まれ、最高気温は20℃を超え風も穏やか、半袖でも汗ばむほどで、この時期の調査条件としては絶好であった。しかしながら、夏の高温少雨、その後の度重なる大型台風の接近などの影響か、前回訪れた2016年12月初旬と比べ、明らかに蝶影は薄かった。

以下に、その記録を示す。なお、採集年はすべて2018年なので省略した。*は今回注意していたが記録できなかった種を示している。



図1. 口之島調査地

1 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

2 鹿児島昆虫同好会

チョウ目 (鱗翅目) Lepidoptera

アゲハチョウ科 Papilionidae

・アオスジアゲハ

Graphium sarpedon (Linnaeus, 1758)

前之浜 (1ex. 目撃 25.XI)

ほかには見ていない。

・モンキアゲハ *Papilio helenus* Linnaeus, 1758

前之浜, セランマで少数を見かけた。

シロチョウ科 Pieridae

・キタキチョウ *Eurema mandarina* (de l'Orza, 1869)

前之浜 (1♀ 24.XI)

ほかには見ていない。

・モンキチョウ *Colias erate* (Esper, [1805])

前之浜, 西之浜で少数を見かけた。

* ツマベニチョウ

Hebomoia glaucippe liukuensis Fruhstorfer, 1898

見かけなかった。集落内に食樹のギョボクは少なくはなく、それらを丹念に探したが、幼生期も、発生した痕跡も確認できなかった。やはり屋久島、中之島など近隣の定着地から飛来し、一時的に発生する迷蝶なのであろう。

シジミチョウ科 Lycaenidae

・ムラサキツバメ *Arhopala bazalus* (Hewitson, 1862)

セランマ (1♀ 24.XI)

ほかには見ていない。食樹マテバシイは、記録はあるが(十島村誌編集委員会, 1995)少ないのであろう、注意しているが確認できていない。本種の記録も少なく、この時期の北東の風に運ばれる迷蝶なのかもしれない。

・ヤマトシジミ *Zizeeria maha* (Kollar, [1844])

セランマ (1♀ 24.XI)

各所で普通に見られた。

・ウラナミシジミ

Lampides boeticus (Linnaeus, 1767)

西之浜海岸の不詳のマメ科群落のまわりで多数みられ、その新穂に多数産卵していた。他所では見かけなかった。

・アマミウラナミシジミ

Nacaduba kurava (Moore, [1858])

各所で多かった。

・ルリウラナミシジミ *Jamides bochus* (Stoll, 1782)

前之浜 (1♂ 24.XI) (1♂ 25.XI)

迷蝶。ほかには見ていない。2018年も口之島に

飛来したが、接近した台風の影響かクズ群落は大きなダメージを受けているようで、大発生には至らなかったであろう。

・クロマダラソテツシジミ

Chilades pandava (Horsfield, [1829])

集落, 前之浜で見られたが、多くはなかった。

* ヒメシルビアシジミ *Zizina otis* (Fabricius, 1787)

口之島では1999年9月にはじめて記録したが、翌2000年7月には確認できなかった(守山, 2012)。次にわれわれが口之島を訪れたのは2009年である。最初の記録地である西之浜の休耕田はリュウキュウチクの侵食により完全にヤブ化しており、付近に発生地となりそうな植生はみられなかった。しかしながら、島内各所には旺盛なヤハズソウの群落が見られ、集落はずれのヘリポートやグラウンド, 前之浜の海岸近くの荒地, 横岳山麓の資材置き場で本種を確認できた(中峯・守山, 2010)。翌2010年も前之浜の海岸近くの荒地で少数を確認しており、このころ一時的に定着していた可能性がある(金井・守山, 2012)。その後は2011, 14~16年と確認できず、また各所のヤハズソウ群落の衰退傾向が感じられた(金井・守山, 2013; 守山・金井, 2015; 守山・金井, 2016; 守山・金井, 2017)。本種は、トカラ列島では平島, 宝島に定着していると思われる(金井・守山, 2018)。2016~17年は屋久島で本種が2年連続記録されており(久保田, 2017; 久保田, 2018; 守山, 2018), 口之島にも再度侵入しているのではないかと考え、その確認を目的に今回の渡島を計画した。ヤハズソウ群落の衰退は著しく、横岳登山道入り口の荒地で1株見つけたただけであった。ヘリポート, 前之浜の海岸近くの荒地はリュウキュウチクに侵食されており、グラウンド, 横岳山麓の資材置き場は夏の高温少雨の影響か、裸地と化していた。前岳林道沿いの最大級の群落は、舗装工事により消滅していた。別の食草候補であるハイメドハギもわずかしがなく、現時点では口之島に本種が飛来しても、発生・定着できる可能性は限りなくゼロに近いと思われる。リュウキュウチクの繁殖力の強さがその要因のひとつとして挙げられるが、以前は道路工事の際に行われた法面の種子吹きつけを、近年は行っていないことも影響しているのかもしれない。

* オジロシジミ *Euchrysops cnejus* (Fabricius, 1798)

口之島では本種の記録はないが、すぐ南に位置する中之島ではよく発生している。その際に食草として利用されているノアズキが、西之浜の海岸にあることを2016年に確認していた。その付近を注意深く探索したが、ウラナミシジミばかりで、本種を見つけ出すことはできなかった。

タテハチョウ科 Nymphalidae

・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui* (Linnaeus, 1758)

前之浜 (1 ♀ 24.XI)
各所で普通に見られた。

・アカタテハ *Vanessa indica* (Herbst, 1794)

各所で普通に見られた。前種とともにシロノセンダングサ、ホソバワダンなどを訪花しており、路傍のカラムシには中齢幼虫も少なからず見られた。

・キタテハ *Polygona c-aureum* (Linnaeus, 1758)

前之浜 (1 ♀ 24.XI) (1 ♂ 25.XI)
シロノセンダングサを訪花していたものを採集した。食草のカナムグラは口之島には記録がなく、この時期の北東の風に運ばれた迷蝶と思われる。ほかには見えていない。

・ルリタテハ *Kaniska canace* (Linnaeus, 1763)

前岳山麓 (1 ♂ 24.XI), 前之浜 (2 齢幼虫 2exs.; ハマサルトリイバラ 25.XI)
各所で見られたが、少なかった。この時期に若齢幼虫がいるということは、幼虫でも越冬しているのであろう。

・ツマグロヒョウモン

Argyreus hyperbius (Linnaeus, 1763)
各所で見られたが、少なかった。

・アサギマダラ *Parantica sita* (Kollar, [1844])

各所で見られたが、多くはなかった。ヤマヒョドリバナ、ツワブキ、シロノセンダングサを訪花していた。

・スジグロカバマダラ

Danaus genutia (Cramer, [1779])
前之浜 (1 ♀ 24.XI)

迷蝶。シロノセンダングサを訪花していたものを採集した。ほかには見えていない。

* イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas* Doyère, [1840]

前週訪れた屋久島では比較的多かったので、注意していたが見かけなかった。やはり口之島では

非常に少ないのであろう。あるいは迷蝶なのかもしれない。

* リュウキュウアサギマダラ

Ideopsis similis (Linnaeus, 1758)

注意していたが、確認できなかった。主要な食草と思われるツルモウリンカも見かけなかった。

セセリチョウ科 Hesperidae

・チャバネセセリ

Pelopidas mathias (Fabricius, 1798)

シロノセンダングサなどを訪花しているものなど、各所で普通に見られた。

・イチモンジセセリ

Parnara guttata (Bremer et Grey, 1852)

各所で見られたが、前種より確実に少なかった。

* キマダラセセリ *Potanthus flavus* (Murray, 1875)

発生期ではないので、以前採集・目撃している場所を中心に幼生期を探索したが、見つめることはできなかった。

11. 悪石島

1. 調査日程

5月23日 鹿児島発 (23:00) フェリーとしま2

24日: 悪石島着 (9:20)

集落~御岳~集落~悪石島小中学校にて自然紹介授業(金井) / 御岳(小宮)~池~根神山~集落~池(灯火採集, 図3)

25日: 集落~根神山~集落~御岳~集落~根神山(灯火採集, 図4, 5)

26日: 雨。集落~大峰牧場~集落

27日: 悪石島発 (7:15) フェリーとしま2~鹿児島着 (18:15)

調査は民宿の車を借りて行った。

2. 調査者

金井賢一: 鹿児島県立博物館学芸主事

小宮裕生: 鹿児島県立博物館外部協力者, 鹿児島昆虫同好会会員

3. 調査結果

5月下旬の悪石島は、まだ調査されていない時期であった。最も関心が高かったことは、ナミエシロチョウの発生確認であった。幼虫の食餌植物であるツゲモドキの分布北限が悪石島であり(十島村誌編集委員会, 1995), ナミエシロチョウの北限も図鑑等で悪石島となっているが、幼生期の記録はなく、証明さ

れてはいない。

また、悪石島はトカラ列島の中でもあまり調査が進んでおらず、各種新分布記録が出ると予想していた。採集記録の中にある【分布新記録】は、「はじめに」に挙げた各種引用文献に分布記録が見られないものである。

なお、全て2018年の採集なので採集年を省略し、採集者は金井をK、小宮をHで示している。

バッタ目（直翅目） Orthoptera

バッタ科 Acrididae

- ・タイワンツチイナゴ

Patanga succincta (Johansson, 1763)

上集落 (24.V 1 ♀ K)

- ・タイワンハネナガイナゴ



図2. 悪石島調査地

Oxya chinensis (Thunberg, 1815)

根神山 (25.V 1ex. K), 上集落 (24.V 1ex. K)

カメムシ目（半翅目） Hemiptera

ミズカメムシ科 Mesoveliidae

- ・ミズカメムシ *Mesovelia vittigera* Horvath, 1895

池 (24.V 1ex. K) 【分布新記録】 標本は林氏保管。

イトアメンボ科 Hydrometridae

- ・オキナワイトアメンボ

Hydrometra okinawana Drake, 1951

池 (24.V 1ex. K) 【分布新記録】 標本は林氏保管。

ヒョウタンナガカメムシ科 Rhyparochromidae

- ・オオモンシロナガカメムシ

Metochus abbreviatus Scott, 1874

根神山 (25.V 2exs. K) 【分布新記録】



図3. 池（灯火採集した環境）



図4. 根神山遠景



図5. 根神山山麓の道路沿い

マダラナガカメムシ科 Lygaeidae

- ・ヒメジュウジナガカメムシ
Tropidothorax sinensis (Reuter, 1888)
御岳 (25.V lex. K)

オオホシカメムシ科 Largidae

- ・ヒメホシカメムシ *Physopelta parviceps* Blote, 1931
池 (24.V lex. H), 根神山 (25.V lex. K) 【分布新記録】

ヘリカメムシ科 Coreidae

- ・ホソハリカメムシ *Cletus punctiger* (Dallas, 1852)
根神山 (25.V lex. K)

カメムシ科 Pentatomidae

- ・チャバナアオカメムシ *Plautia stali* Scott, 1874
池 (24.V lex. K, 1ex. H), 根神山 (25.V 2exs. K)

コウチュウ目 (鞘翅目) Coleoptera

オサムシ科 Carabidae

- ・オオアトボシアオゴミムシ
Chlaenius (Achlaenius) micans (Fabricius, 1792)
根神山 (25.V lex. K) 【分布新記録】
- ・オオアオモリヒラタゴミムシ
Metacolpodes buchannani (Hope, 1831)
池 (24.V lex. H), 根神山 (25.V lex. K) 【分布新記録】

ガムシ科 Hydrophilidae

- ・アカヒラタガムシ
Helochaeres (Hydrobaticus) anchoralis Sharp, 1890
池 (24.V 2exs. K, 5exs. H) 【分布新記録】
- ・ヒメガムシ
Sternolophus (Sternolophus) rufipes (Fabricius, 1792)
池 (24.V lex. K, 4exs. H) 【分布新記録】

クワガタムシ科 Lucanidae

- ・アマミノコギリクワガタ トカラ列島亜種
Prosopocoilus dissimilis elegans (Inahara, 1958)
根神山 (25.V 1 ♂ 1 ♀ K)

コガネムシ科 Scarabaeidae

- ・クロツツマグソコガネ
Saprosites japonicus Waterhouse, 1875
根神山 (25.V 2exs. K)
- ・セスジカクマグソコガネ
Rhyparus azumai azumai Nakane, 1956
根神山 (25.V 2exs. K) 【分布新記録】
- ・ヒメセスジカクマグソコガネ

Rhyparus helophoroides Fairmaire, 1893

- 根神山 (25.V lex. K) 【分布新記録】
- ・オオカンショコガネ 琉球亜種
Apogonia major bicavata Arrow, 1913
池 (24.V lex. K) 【分布新記録】
- ・アオドウガネ トカラ奄美諸島亜種
Anomala albopilosa gracilis Schönfeldt, 1890
池 (24.V lex. K), 根神山 (25.V lex. K)
- ・サンカクスジコガネ
Anomala triangularis Schönfeldt, 1890
池 (24.V lex. K), 根神山 (25.V lex. K)
- ・アオヒメハナムグリ 基亜種
Gametis forticula forticula (Janson, 1881)
根神山 (25.V 2exs. K), 上集落 (24.V lex. K)
- ・リュウキュウツヤハナムグリ 悪石島亜種
Protaetia (Pyropotosia) pryeri akusekiana Nomura, 1964
御岳 (24.V lex. K, 25.V 2exs. K)

コメツキムシ科 Elateridae

- ・シロモンサビキコリ 亜種
Agrypnus scutellaris hamai Ôhira, 1967
池 (24.V lex. H)
- ・アマミクシコメツキ
Melanotus amamiensis Ôhira, 1967
池 (24.V lex. K, 2exs. H) 【分布新記録】

ホタル科 Lampyridae

- ・キイロスジボタル
Curtos costipennis (Gorham, 1880)
池 (24.V 3 ♂ K)

カミキリモドキ科 Oedemeridae

- ・ハイイロカミキリモドキ
Eobia (Eobia) cinereipennis cinereipennis (Motschulsky, 1866)
池 (24.V lex. K, 2exs. H)

カミキリムシ科 Cerambycidae

- ・リュウキュウルリボシカミキリ 伊豆諸島亜種
Glenea (Glenea) chlorospila hachijonis Matsumura & Matsushita, 1933
池 (24.V lex. H)

ハムシ科 Chrysomelidae

- ・クロアラハダトビハムシ
Trachytetra nigrita (Ohno, 1961)
池 (24.V 2exs. K, 3exs. H)

- ・ウリハムシ *Aulacophora indica* (Gmelin, 1790)
根神山 (25.V 1ex. K) 【分布新記録】
- ・キボシツツハムシ 琉球亜種
Cryptocephalus (Cryptocephalus) perelegans insulanus
Chûjô, 1935
御岳 (24.V 2exs. K)
- ・アカガネサルハムシ 吐噶喇亜種
Acrothinium gaschkevitchii tokaraense Nakane, 1956
池 (24.V 2exs. H) 【分布新記録】
- ヒゲナガゾウムシ科 Anthribidae
- ・シロモンオオヒゲナガゾウムシ
Mecotropis kyushuensis (Nakane, 1963)
根神山 (25.V 1ex. K) 【分布新記録】
- ゾウムシ科 Curculionidae
- ・サカグチクチブトゾウムシ
Oedophrys sakaguchii (Kôno, 1930)
御岳 (25.V 1ex. K) 【分布新記録】
- ・ホソヒョウタンゾウムシ
Sympiezomias cribricollis Kôno, 1930
上集落 (24.V 3exs. K), 御岳 (25.V 2exs. K) 【分布新記録】
- ・シロアナアキゾウムシ
Hesychobius vossi (Chûjô, 1959)
根神山 (25.V 1ex. K) 【分布新記録】

ハチ目 (膜翅目) Hymenoptera

- ツチバチ科 Scoliidae
- ・アカアシハラナガツチバチ
Megacompsomeris mojiensis ryukyuana Tsuneki, 1972
根神山 (25.V 1ex. K)
- スズメバチ科 Vespoidea
- ・キアシナガバチ
Polistes rothneyi iwatai van der Vecht, 1968
御岳 (24.V 1ex. K)
- ミツバチ科 Apidae
- ・アマミクマバチ *Xylocopa amamiensis* Sonan, 1934
御岳 (24.V 1 ♂ K)

ハエ目 (双翅目) Diptera

- ミズアブ科 Stratiomyidae
- ・アメリカミズアブ *Hermetia illucens* (Linnaeus)
根神山 (25.V 1ex. K)
- ハナアブ科 Syrphidae

- ・ナミハナアブ *Eristalis tenax* (Linnaeus)
御岳 (24.V 2exs. K)
- ・オオハナアブ *Phytomia zonata* (Fabricius)
根神山 (25.V 1ex. K)

チョウ目 (鱗翅目) Lepidoptera

セセリチョウ科 Hesperidae

- ・チャバネセセリ
Pelopidas mathias (Fabricius, 1798)
御岳 (25.V 1 ♂ H, 1 目撃)
注意して確認したが、他にセセリチョウは見られなかった。キマダラセセリの南限記録更新を狙っていたが、全くそれらしいものを見る機会がなかった。

アゲハチョウ科 Papilionidae

- ・ナミアゲハ *Papilio xuthus* Linnaeus, 1767
御岳 (24.V 1 ♀ K; 1 ♂ H)
今までトカラ列島では少ないと思われていたが、5月末に悪石島御岳山麓ではかなり多く見られた。
- ・モンキアゲハ *Papilio helenus* Linnaeus, 1758
根神山 (25.V 1 ♂ 1 ♀ K), 御岳 (25.V 1 ♀ H)
集落では新鮮な個体から少破個体まで多かった。根神山では少数目撃。
- ・カラスアゲハ トカラ亜種
Papilio dehaanii tokaraensis Fujioka, 1975
上集落 (24.V 2 ♂ K), 池 (25.V 1 ♂ 1 ♀ K), 御岳 (24.V 2 ♂ 2 ♀ H)
御岳から上集落までは多数見られ、ほとんどが新鮮な個体であった。根神山では目撃せず。
- ・アオスジアゲハ
Graphium sarpedon (Linnaeus, 1758)
御岳 (24.V 目撃), 根神山 (25.V 目撃)

シロチョウ科 Pieridae

- ・キチョウ sp. *Eurema* sp.
根神山 (24.V 1 ♂ K), 御岳 (24.V 1 ♀ H)
- ・ナミエシロチョウ *Appias paulina* (Cramer, [1777])
御岳 (24.V 1 ♂ 1 ♀ H, 25.V 1 ♂ 1 ♀ K), 根神山 (25.V 2 ♂ H)
この2地域ではかなり多くの個体数が見られた。ツゲモドキの木に登り、葉や枝を調べたが、幼虫やサナギは見つからなかった。得られた個体は皆新鮮だったので、成虫以外の発育ステージが見られない時期だったのかもしれない。

モンシロチョウ *Pieris rapae* (Linnaeus, 1758)

上集落 (26.V 1 ♂ 1 ♀ H)

シジミチョウ科 Lycaenidae

・ヤマトシジミ *Zizeeria maha* (Kollar, [1844])

御岳 (24.V 2 ♂ 7 ♀ K; 5 ♂ 1 ♀ H, 25.V 1 ♂ 1 ♀ K)

根神山 (25.V 4 ♂ 1 ♀ K; 3 ♂ 3 ♀ H)

上集落 (24.V 1 ♂ 2 ♀ K)

各地に多く見られた。

*タイワンクロボシシジミ

幼虫はアカメガシワの花芽を食べるが、定まった越冬態を持たない本種が冬を越すには、冬季にも花芽を付けるクスノハガシワが必要だろうと言われている(福田・守山, 2013)。そのクスノハガシワの北限が悪石島だが、今回の調査でクスノハガシワを発見することができず、アカメガシワの雄花をたびたび叩いて確認したが、本種は見られなかった。

タテハチョウ科 Nymphalidae

・テングチョウ *Libythea lepita* ssp.

根神山 (25.V 目撃) 【分布新記録】

採集することはできなかったが、小宮は路上で羽を広げて静止する様子を目撃しており、間違いない。

・リュウキュウアサギマダラ

Ideopsis similis (Linnaeus, 1758)

御岳 (24.V 1 ♂ K; 3exs. H)

御岳, 根神山共に多かった。

・アサギマダラ *Parantica sita* (Kollar, [1844])

御岳 (24.V 1 ♂ K; 1 ♀ H)

ただし、24日悪石島小・中学校での授業でマーキングして、放ちョウした(図6, 7)。

根神山 (25.V 多数目撃)

・ツマグロヒョウモン

Argyreus hyperbius (Linnaeus, 1763)

御岳 (24.V 1 ♀ K; 1 ♀ H)

御岳では普通, 根神山では少数目撃

・イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas* Doyère, [1840]

御岳 (24.V 1 ♂ K; 1 ♂ H), 根神山 (25.V 2 ♂ K; 1 ♀ H)

・ルリタテハ *Kaniska canace* (Linnaeus, 1763)

根神山 (24.V 1 ♂ K) 御岳 (24.V 1 頭目撃)

・アカタテハ *Vanessa indica* (Herbst, 1794)

根神山 (25.V 1 ♂ K; 1ex. H)

・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui* (Linnaeus, 1758)

御岳 (24.V 1ex. H, 25.V 1 ♀ K)

ハマキガ科 Tortricidae

・チャノコカクモンハマキ

Adoxophyes honmai Yasuda, 1988

池 (24.V. 2 ♂ 3 ♀ K), 根神山 (25.V. 1 ♂ K)

ツトガ科 Crambidae

・モンシロノメイガ

Cirrhochrista brizoalis (Walker, 1859)

池 (24.V. 2 ♂ 2 ♀ K), 根神山 (25.V. 2 ♀ K)

・シロモンノメイガ

Bocchoris inspersalis (Zeller, 1852)

池 (24.V. 1 ♀ K), 根神山 (25.V. 1 ♀ K)

・ナカキトガリノメイガ

Preneopogon catenalis (Wileman, 1911)

根神山 (25.V. 2 ♀ K)

・ミツシロモンノメイガ

Glyphodes actorionalis Walker, 1859

根神山 (25.V. 1 ♂ K)



図6. 自然紹介授業1 アサギマダラのマーキング



図7. 自然紹介授業2 アサギマダラの放ちョウ

- ・フタホシノメイガ
Glyphodes bipunctalis Leech, 1889
根神山 (25.V. 1 ♀ K)
- ・ケブカキイロノメイガ
Thliptoceras amamiale Munroe & Mutuura, 1968
根神山 (25.V. 1 ♀ K)
- ・チャモンキイロノメイガ
Pachynoa sabelialis (Guenée, 1854)
池 (24.V. 1 ♀ K)
- ・ヘリグロノメイガ
Herpetogramma cynarale (Walker, 1859)
根神山 (25.V. 1 ♂ K)
- ・ヘリジロキンノメイガ
Paliga auratalis (Warren, 1895)
池 (24.V. 1 ♀ K)
- ・ツトガ科 sp. Crambidae sp.
池 (24.V. 1 ♂ 3 ♀ K)
- メイガ科 Pyralidae
- ・アオフトメイガ *Orthaga olivacea* (Warren, 1891)
池 (24.V. 1 ♀ K)
- ・ツマアカシマメイガ
Orthopygia nannodes (Butler, 1879)
池 (24.V. 1 ♀ K)
- ・キベリトガリメイガ
Endotricha minialis (Fabricius, 1794)
池 (24.V. 1 ♀ K), 根神山 (25.V. 1 ♀ K)
- ・ウスベニトガリメイガ
Endotricha olivacealis (Bremer, 1864)
池 (24.V. 1 ♀ K), 根神山 (25.V. 1 ♀ K)
- シヤクガ科 Geometridae
- ・ウスアオシヤク *Dindica virescens* (Butler, 1878)
根神山 (25.V. 1 ♀ K)
- ・ヨツモンマエジロアオシヤク
Comibaena procumbaria (Pryer, 1877)
池 (24.V. 4 ♂ K)
- ・ヨツテンアオシヤク
Comibaena diluta (Warren, 1895)
池 (24.V. 1 ♀ K), 根神山 (25.V. 1 ♀ K)
- ・コヨツメアオシヤク
Comostola subtiliaria nympha (Butler, 1881)
池 (24.V. 2 ♂ K)
- ・ミスジハイイロヒメシヤク
Scopula cineraria (Leech, 1897)
池 (24.V. 4 ♂ 1 ♀ K), 根神山 (25.V. 1 ♂ K)
- ・マエベニヒメシヤク
Idaea obliteraria (Leech, 1879)
根神山 (25.V. 1 ♀ K)
- ・チビキヒメシヤク *Idaea neovalida* (Inoue, 1958)
根神山 (25.V. 2 ♀ K)
- ・サクライキヒメシヤク
Idaea sakuraii (Inoue, 1963)
根神山 (25.V. 1 ♀ K)
- ・キオビエダシヤク *Milionia zonea pryeri* Druce, 1888
池 (24.V. 1 ♀ K)
他には見かけなかった。
- ・ヤクシマフトスジエダシヤク
Cleora minutaria (Leech, 1891)
根神山 (25.V. 1 ♂ K)
- ・ウラベニエダシヤク
Heterolocha aristonaria (Walker, 1860)
池 (24.V. 1 ♀ K)
- カイコガ科 Bombycidae
- ・クワコ *Bombyx mandarina* (Moore, 1872)
池 (24.V. 1 ♂ K)
- スズメガ科 Sphingidae
- ・コスズメ *Theretra japonica* (Boisduval, 1869)
池 (24.V. 1 ♂ K)
- ドクガ科 Lymantriidae
- ・ゴマフリドクガ *Somena pulverea* (Leech, [1889])
根神山 (25.V. 1 ♂ 2 ♀ K)
- ヒトリガ科 Arctiidae
- ・トカラホソバ *Pelosia tokaraensis* Kishida, 1993
根神山 (25.V. 1 ♂ K)
- ・ヒトテンアカスジコケガ
Cyana unipunctata (Elwes, 1890)
根神山 (25.V. 1 ♂ 1 ♀ K)
- ヤガ科 Noctuidae
- ・ニセタマナヤガ *Peridroma saucia* (Hübner, 1808)
池 (24.V. 1 ♀ K)
- ・マメチャイロキヨトウ
Mythimna stolidia (Leech, 1889)
根神山 (25.V. 1 ♀ K)
- ・スジキリヨトウ
Spodoptera depravata (Butler, 1879)
池 (24.V. 3 ♂ 1 ♀ K), 根神山 (25.V. 3 ♂ 7 ♀ K)
- ・ナカウスツマキリヨトウ

- Calloplistria maillardi* (Guenée, 1862)
池 (24.V.1 ♂ K)
- ・クロハナコヤガ *Aventiola pusilla* (Butler, 1879)
池 (24.V.1 ♂ K)
 - ・ヒメゴマフコヤガ
Metaemene atriguttata maculata (Leech, 1889)
池 (24.V.4 ♂ 1 ♀ K), 根神山 (25.V.2 ♂ 3 ♀ K)
 - ・ムラサキアシブトクチバ
Bastilla maturata (Walker, 1858)
池 (24.V.1 ♀ K)
 - ・クロスジユミモンクチバ
Melapia japonica (Ogata, 1961)
根神山 (25.V.1 ♀ K)
 - ・キンモンエグリバ
Plusiodonta coelonota (Kollar, 1844)
根神山 (25.V.1 ♀ K)
 - ・ヒメエビイロアツバ
Maguda suffusa (Walker, 1863)
池 (24.V.1 ♂ K)
 - ・タイワンキシタアツバ
Hypena trigonalis (Guenée, 1854)
池 (24.V.1 ♂ 5 ♀ K), 根神山 (25.V.6 ♀ K)
 - ・クロジャノメアツバ
Bocana manifestalis Walker, 1859
根神山 (25.V.1 ♀ K)
 - ・ソトウスグロアツバ
Hydrillodes lentalis Guenée, 1854
池 (24.V.5 ♂ 1 ♀ K), 根神山 (25.V.1 ♀ K)

終わりに

金井・守山 (2018b) によれば、トカラ列島で比較的調査の足りない時期・地域は

- ・口之島, 中之島, 諏訪之瀬島, 平島, 悪石島の冬
 - ・諏訪之瀬島, 悪石島, 小宝島の春
 - ・諏訪之瀬島, 平島, 悪石島の夏
- が挙げられる。

チョウに関しては, キマダラセセリ, テングチョウの新分布地および亜種区分の確定, ヒメシルビアシジミの分布変化, タイワンツバメシジミの分布地拡大・縮小の把握, リュウキュウアサギマダラの越冬確認, タテハモドキのトカラ列島での衰退, クロコノマチョウとウスイロコノマチョウの動向などを, 今後のテーマと考えている。

また, 今回の悪石島調査でも, 新分布記録が多数得られている。これはまだ調査が足りていないということを示しており, 今後ますます新しい発見が期待される地域でもある。しかし, トカラ列島は昆虫保護条例によって, あるいは定期便の本数の少なさからも, アマチュアが調査しにくい地域である。なおかつ亜熱帯から温帯への移行帯にあたり, 貴重な生物の分布を示す地域でもある。トカラ列島での定期的な調査を, 今後も鹿児島県立博物館として継続していく必要がある。

引用文献

- 福田晴夫・守山泰司 (2013) 鹿児島県産チョウ類の分布ノート. *Satsuma* (150): 3-40.
- 平嶋義宏・森本桂 (2008) 新訂原色昆虫図鑑. 654pp. 北隆館, 東京.
- 石川忠・高井幹夫・安永智秀 (2012) 日本原色カメムシ図鑑 - 陸生カメムシ類 - 第3巻. 576pp. 全国農村教育協会, 東京.
- 猪又敏男・植村好延・矢後勝也・神保宇嗣・上田恭一郎 (2010-2013) 日本産蝶類和名学名便覧. <http://binran.lepimages.jp/> (2019年1月20日閲覧)
- 神保宇嗣 (2004-2008) List-MJ 日本産蛾類総目録. <http://www.mothprog.com/old/listmj/>
- 金井賢一・守山泰司 (2012) 2010年10月口之島・中之島における昆虫記録. 鹿児島県立博物館研究報告 (31): 67-72.
- 金井賢一・守山泰司 (2013) 2011年4月と10月の口之島における昆虫記録. 鹿児島県立博物館研究報告 (32): 11-16.
- 金井賢一・守山泰司 (2018a) トカラ列島中之島・小宝島の昆虫. 鹿児島県立博物館研究報告 (37): 15-18.
- 金井賢一・守山泰司 (2018b) トカラ列島のチョウ類. 鹿児島県立博物館研究報告 (37): 19-30.
- 川合禎次・谷田一三 (2018) 日本産水生昆虫: 科・属・種への検索. 14790pp. 東海大学出版部, 平塚.
- 久保田義則 (2017) 2016年屋久島における迷蝶記録. *Satsuma* (158): 33-42.
- 久保田義則 (2018) 2017年屋久島における迷蝶記録. *Satsuma* (160): 73-80.
- 町田龍一郎・日本直翅類学会 (2016) 日本産直翅類標準図鑑. 384pp. 学研プラス, 東京.

- 守山泰司 (2012) トカラ口之島におけるヒメシルビアシジミ 1999 年の記録. *Satsuma* (148) : 152.
- 守山泰司 (2018) 屋久島で採集した迷蝶の記録 (2017 年). *Satsuma* (160) : 81-82.
- 守山泰司・金井賢一 (2015) トカラ列島口之島・中之島・平島の昆虫 (2014 年). 鹿児島県立博物館研究報告 (34) : 69-77.
- 守山泰司・金井賢一 (2016) トカラ列島口之島・中之島・諏訪瀬島の昆虫 (2015). 鹿児島県立博物館研究報告 (35) : 57-66.
- 守山泰司・金井賢一 (2017) トカラ列島口之島, 諏訪瀬島, 平島, 小宝島, 宝島の昆虫 (2016 年). 鹿児島県立博物館研究報告 (36) : 1-13.
- 中峯浩司・守山泰司 (2010) 2009 年秋トカラ列島口之島・諏訪瀬島・宝島のチョウ類. 鹿児島県立博物館研究報告 (29) : 55-64.
- 鈴木 茂 (2017-2018) 日本列島の甲虫全種目録. <https://japanesebeetles.jimdo.com/> (2019 年 1 月 20 日閲覧)
- 多田内修・村尾竜起 (2014) 日本産ハナバチ図鑑. 479pp. 文一総合出版, 東京.
- 寺山守・須田博久 (2016) 日本産有剣ハチ類図鑑. 735pp. 東海大学出版部, 平塚.
- 十島村誌編集委員会 (1995) 十島村誌. 1758pp. 十島村, 鹿児島. 「平田浩: 陸上の生物 (植物) : 56-146.」